

5

PCMの枠組み

プリベンション・ケースマネジャーは、リスク低減を目的としたカウンセリングを提供するなかで、クライアントの個人情報に触れることが考えられる。またケースマネジメントという作業を通して、クライアントの置かれている社会状況についても情報を知ることになる。守秘義務が発生してくるのは当然である。

それに加えて、PCMが、クライアントとケースマネジャーという一対一の関係性を、その特徴としている限り、そこでの人間関係やそれに伴う様々な感情は、大きな影響を持ちうる。こういった状況の中で、クライアントとケースマネジャーとの関係性を健康なものに保つことは、非常に大切なことであるが、同時に困難さを伴うものでもある。

PCMをボランティアで行おうとするとき、そこに求められる専門的な知識や情報あるいはスキルはもちろんであるが、PCMの目的と方向性をしっかりと見定め、その枠組みを、きちんと守っていこうとする力を持続していくことが、求められてくる。

6- 1. クライアントのリクルート

クライアントの確保は、プログラムの中で大きな割合を占めるものである。

また対象グループによってもリクルートの方法は違うものとなるので、対象グループに関する情報の収集は、リクルートに先駆けて行われなければならないであろう。また情報の収集だけではなく、対象グループの持つ特性への理解や共感も必要となる。

もう一つの重要なポイント、それは、プログラムの内容に適したクライアントのリクルートは、プログラム成功の鍵を握る重要な要素だ、ということである。クライアントにあわせてプログラムの内容を臨機応変に変えていくのではなく、確かにそういった幅を持つ必要はあるかもしれないが、PCMにあわないクライアントは、他のサービスへ繋げていくという方法を導入することによって、プログラム提供者がそのクライアントを主体的に選択していくという考え方は大切である。

その選択の課程として、あるいはクライアントのプログラムへの適合性を見極めるために、二、三回の面談を通して、次の段階であるアセスメントを、暫定的に行う必要が考えられる。PCMはクライアントからの積極的な参加が条件であり、クライアントの自主的な行動変容への意思や、その能力などが大切な要素となってくるからである。

リクルートの方法：

1. プログラム自体が直接対象グループへの働きかけ

イベントを通してのリクルート：

対象グループの属するコミュニティ内でのイベントに参加し、マーケティングを行う。そのためには、イベント情報の収集を行い、マーケティング用グッズ（チラシ、パンフレットなど）を開発し、イベントの会場などで配布をする。またブースなどが出せる場合は、それを基点として、リクルートする。

インターネットを通してのリクルート：

対象グループが頻繁に用いるサイトへの情報の掲載、あるいは独自のHPを作成、リンクを貼る。インターネットでの応答は必ずメールで確認を取り、電話でのインタビューを経て、最初の面談へとつなげること。

2. 関連団体やプロジェクトからの紹介

関連団体、同じ対象グループを持つプロジェクト、あるいはコミュニティで活

動を繰り広げている団体へ、PCMプロジェクトの資料を送り、紹介のネットワークをつくる。このネットワークは、お互いのサービスの内容をまず理解すること、そしてクライアントの紹介に関する正式な同意書を交換することによって構築されるものである。また紹介するクライアントの権利と安全を守るという意味でも、大切なことである。同意書には期限や条件を設け、必ず評価を行い、続行、変更あるいは中止などを検討する。

3. 医療機関・行政機関からの紹介

対象グループが頻繁に使用する医療や行政機関からの協力を取り付け、ネットワークを構築する。この場合も2.と同様に正式な同意書の交換が必要となる。

6- 2. クライアントの適合性を見極め

次に、クライアントのプログラムへの適合性を見極めなければならない。クライアントが集まりにくい状況などでは、プログラム参加に関する優先順位は発生しないかもしれないが、基本的には、出来るだけ必要性の高いクライアントに、サービスを提供することで、予防介入の効果性をあげることが出来るのは確かである。まずはクライアントの抱える問題や置かれている状況の把握が考えられる。その際次のような問いは有効であろう。

クライアントは：

- 最近HIV感染が判明した人ですか？
- HIV感染者のパートナーですか？
- MSMですか？
- 薬物の常用者ですか？
- STDに繰り返し感染しているですか？
- コンドームの使用に関してパートナーと意見が一致していないひとですか？

またPCMはクライアントからの参加が不可欠であるため、プログラム参加への意思、あるいはもっと根本的に自分の健康性を増進していこうとする意思を持っていることを、確認することも必要となってくる。そのために、2, 3回のセッションを持ち、次の段階であるリスクアセスメントを暫定的に行うことも考えられる。

6- 3. クライアントの理解の確立

PCMは主に、HIV感染、感染拡大、二次感染などを予防しようとしている人の中で、その継続の困難さや、複雑な状況などを理由として、リスクリダクションのカウンセリングを必要としている人に提供されるものである。

従って、PCMは、プログラムに参加することでもたらされる利益について、リクルートの際、クライアントに的確に伝えなければならない。一方、クライアントの積極的な参加への意思を条件とし提供される、自主的かつ参加型のサービスであることも理解してもらうことが大切である。これは同意書を取り交わすことで、正式に相互認識されることになる。

6-4. 参加への同意の表明

クライアントは、PCMプロジェクトの参加を、その内容を理解した上で正式に表明しなければならない。これはPCMの一つの成立条件であるため、守る必要がある。

PCMは一方向的なサービスの提供者とその受け手という図式によって形成されるものではなく、クライアントとケースマネジャーのそれぞれの参加をその基盤に置くものである。したがって、この考え方はサービスが開始される前に、クライアントとマネジャーの間でしっかりと理解され、その理解をふまえた上で、参加への同意を文書によって表明することになる。

この作業によって、プログラムの枠組が明確に提示され、またその目標をクライアントとマネジャーの間でしっかりと確認がなされることになる。

この同意書に署名することによって、PCMのいわば準備段階が終了し、実際のサービスへと進んでいくことになる。

ここに示そうとするものは、一つの雛形であって、全てのプログラムに適用するものではない。しかし基本的に同意書は以下の点を含まなければならない。

1. プログラムの名称
2. プログラムの目標
3. プログラムの運営
4. PCMサービスの内容
5. プリベンション・ケースマネジャーの責任と義務
6. クライアントの責任と義務
7. サービスのコストや金銭の授受

同意書

1. プログラムの名称

このプログラムの名称は、「プロジェクト・SAFE」といいます。

2. プログラムの目標

このプログラムは、HIV感染をとりまく複雑な状況下で、クライアントが行おうとする、より安全な行動変容の採択、達成、維持へ支援を提供すること目標としています。

3. プログラムの運営

このプログラムは、NPO 法人「〇〇」が、カリフォルニア大学サンフランシスコ校のエイズ予防研究センターの協力を得て、管理運営しています。

4. PCMサービスの内容

サービスの概要は次の通りです：

- どういった感染リスクがあるのかをより明確にしていきます
- そのリスクを出来るだけ低くするためにはどういうことが必要なかを話し合います
- それに基づいて、サービス計画を共同作業で作ります
- サービス計画の実施に取り組みます
- 様々な支援の提供を試みます
- 感染リスクにどういった変化が見られたのかを明確にしていきます
- 期間は6ヶ月で、少なくとも10回のセッションが予定されています

5. プリベンション・ケースマネジャーの責任と義務

プリベンション・ケースマネジャーは：

- すべての情報を守秘義務をもって扱います
- ピア・カウンセリングのスキルを使ってノンジャッジメンタルなアプローチを試みます
- クライアントとの健康な関係性を保つよう努めます
- 約束や時間は厳守します

6. クライアントの責任と義務

クライアントは：

- 6ヶ月間参加してください
- セッションには遅れないようにしてください
- セッションに遅れたり行けなくなった場合は連絡をしてください
- 正直な感想や率直な意見を述べるようにしてください

7. サービスのコストや金銭の授受

このプロジェクトで提供されるサービスはすべて無料ですので、金銭の授受はございません

上記を理解したうえで、当プロジェクトに参加することを同意します

クライアント： _____ 日付： _____

上記を理解した上で、出来る限り最良のサービスを提供するよう努力します

プリベンション・ケースマネジャー： _____ 日付： _____

6- 5. リスク・アセスメント（ベースライン）の方法

PCMのサービスを開始に当たって、クライアントがどのようなリスクを持っているのかをアセスメントする必要がある。その内容としては、セックスに関するだけでなく、クライアントのセクシャリティーの自己認識やその積極性・消極性、社会資源へのアクセス、友人や家族などのサポートネットワーク、ドラッグやアルコールの使用状況などが含まれなければならない。まずは質問票を用いて、ベースラインの設定を行う。

ベースラインとは、予防介入を提供しようとするとき、その効果性を評価するために、対象グループあるいは個人の、サービス開始時における状況を把握しようとするもので、通常計量可能な数値などを用いて行われるものである。そして、サービスの中途あるいは終了時に同様の調査を行い、ベースラインとの比較をするなかで、対象グループや個人にどのような変化が見られたかを測定する。

質問票

同意書が取り交わされた直後に、クライアントに簡単な質問票に答えてもらうことになる。この質問票は、中途、及びサービス終了時点でも答えてもらい、クライアントに見られた変化を見ようとするものである。

内容としては：

- クライアントの属性
- セックスの対象
- HIV・エイズに関する知識
- セックスの相手や場所
- 様々状況に置けるコンドームの使用
- コンドームに関するイメージやスキル

などが含まれる。

質 問 票

記入日： _____ クライアントID： _____ Base Line / Evaluation

質問 1

あなたの性別は？ 男性 ・ 女性

質問 2

あなたの年齢は？ _____ 歳

質問 3

あなたの住んでいる地域は？

1. 大阪府内 2. 大阪をのぞく近畿地方（京都、奈良、兵庫、滋賀、和歌山） 3. 東京
4. 神奈川 5. 埼玉 6. 千葉 7. 栃木 8. 群馬 9. その他（ _____ ）

質問 4

職業について（もっとも近いものに○をつけてください）

1. 学生 2. 会社員 3. 公務員／団体職員 4. 派遣・契約社員 5. 自営業
6. フリーター 7. 自由業 8. 無職 9. その他（ _____ ）

質問 5

セックスの対象は？

1. 男性のみ 2. 主に男性のみ 3. 女性のみ 4. 主に女性のみ 5. 男女同じくらい
6. その他（ _____ ）

質問 6

あなたは次のどれに属すると思いますか？

1. ゲイ（同性愛者） 2. ヘテロ（異性愛者） 3. バイ（両性愛者） 4. わからない

質問 7

次の文章についてどう思いますか？

正 誤 ？

現在、新しい抗ウイルス薬で延命治療が出来るようになった			
健康に見えてもHIVに感染していることがある			
通常のHIV抗体検査では感染後2-3日で感染しているかどうかわかる			
注射器の回し内はHIV感染の可能性がある			
どの性交渉でも、血液精液などの体液との接触があればHIV感染の危険性がある			
性病（STD）は感染すると必ず症状が出る			
性病（STD）にかかっているとHIVに感染しやすい			
蚊や他の虫に刺されるとHIV感染の可能性がある			
コンドームの使用はHIV感染を予防する			
コンドームの使用は梅毒などの性病（STD）を予防する			
フェラチオでも性病（STD）に感染することがある			
保健所では無料・匿名のHIV検査を行っている			
東京・大阪には無料・匿名の夜間エイズ検査機関がある			

質問8

セックスの経験についてお聞きします。

ここで言うセックスはアナルセックス/フェラチオ/膣性交すべてを含みます

- 1. 経験がある
- 2. 経験がない
- 3. 答えられない

前の質問で「ある」と答えた方は、相手について教えてください。(いくつでも)

- 1. 彼氏・彼女や特定のセックスフレンド
- 2. バーで知り合ったいきずりの人
- 3. ハッテン場で出会ったいきずりの人
- 4. 同級生、同僚
- 5. 伝言・文通欄で知り合った人
- 6. 売り専・風俗店
- 7. 妻
- 8. ガールフレンド
- 9. インターネットで知り合った人
- 10. その他 ()

質問9

過去3ヶ月で何人の男性とセックスをしましたか？

- 1. していない
- 2. 1人
- 3. 2-10人
- 4. 11-20人
- 5. 21-50人
- 6. 51-100人
- 7. 101人以上

質問10

過去3ヶ月で何人の女性とセックスをしましたか？

- 1. していない
- 2. 1人
- 3. 2-10人
- 4. 11-20人
- 5. 21-50人
- 6. 51-100人
- 7. 101人以上

質問11

過去3ヶ月のセックスで、どのような割合でコンドームを使用しましたか？

■恋人など特定のひととのセックス場合

コンドームの使用割合

フェラチオを	全く使わない	割に使った	半々で使った	よく使った	必ず使った
1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

■アナルセックスを

全く使わない 割に使った 半々で使った よく使った 必ず使った

1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

■膣性交を

全く使わない 割に使った 半々で使った よく使った 必ず使った

1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

■恋人など特定の人以外のいきずりの相手と コンドームの使用割合

フェラチオを	全く使わない	割に使った	半々で使った	よく使った	必ず使った
1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

アナルセックスを	全く使わない	割に使った	半々で使った	よく使った	必ず使った
1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

膣性交を	全く使わない	割に使った	半々で使った	よく使った	必ず使った
1. した時	_____	_____	_____	_____	_____
2. された時	_____	_____	_____	_____	_____
3. しなかった	_____	_____	_____	_____	_____

質問12

セックスをしようとするとき、いろんな状況が考えられます。次の事について、あなたの気持ちとして一番近いものに○をつけてください。

- A. セックスをしようとするとき、コンドームの使用を提案出来そうだ
1. 全く出来そうにない
 2. 出来そうにない
 3. 出来そうだ
 4. 出来る自信がある
- B. もしセックスの相手がコンドームを使いたくないと言えば、わたしに出来ることはないように思う
1. 全くないように思う
 2. ないように思う
 3. 何か出来ると思う
 4. 何か出来る自信がある
- C. 相手がコンドームを使わないセックスをしたがっても、それを拒否することは出来そうだ
1. 全く出来そうにない
 2. 出来そうもない
 3. 出来そうだ
 4. 出来る自信がある
- D. 性的に興奮したり気分が乗っているとき、コンドームを使うのが難しく感じる事がある
1. 大変難しく感じる
 2. 難しく感じる
 3. そんなに難しく感じない
 4. 全然難しく感じない

質問13

あなたが持っているコンドームのイメージについての質問です。あなたが一番近いと思うものに○をつけてください。

- A. コンドームを使うとセックスの快感がそがれてしまう
1. そう思う
 2. そういうことはあるかもしれない
 3. そんなことはないと思う
 4. 全くそんなことはない

B. コンドームを店で買うのは恥ずかしい

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. そう思う | 2. そういうことはあるかもしれない |
| 3. そんなことはないと思う | 4. 全くそんなことはない |

C. コンドームはセックスのすべての楽しみを奪ってしまう

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. そう思う | 2. そういうことはあるかもしれない |
| 3. そんなことはないと思う | 4. 全くそんなことはない |

D. コンドームを使うのはあなたや相手をいろんな病気や望まない妊娠から守るためにいい方法だ

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. そう思う | 2. そういうことはあるかもしれない |
| 3. そんなことはないと思う | 4. 全くそんなことはない |

E. コンドームはセックスの途中で破れたり抜けたりしてしまう

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. そう思う | 2. そういうことはあるかもしれない |
| 3. そんなことはないと思う | 4. 全くそんなことはない |

質問 14

あなたの生活環境の中でのコンドームについての質問です。

A. 過去3ヶ月の間コンドームをもらったり買ったりしたことがありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

B. コンドームはあなたの家にありますか

- | | |
|-------------|-----------|
| 1. いつもある | 2. だいたいある |
| 3. 半分くらいはある | 4. あまりない |
| 5. まったくない | |

C. パーやハッテン場に出かけるとき、どれくらいの頻度でコンドームを持っていますか

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. 全く持っていない | 2. 時々は持っていく |
| 3. 半分くらいは持っていく | 4. ほとんど持っていく |
| 5. いつも持っていく | |

協力どうもありがとう！

6- 6. リスク・アセスメント

リスクアセスメント・シート：

リスクには、クライアントが自認しているものと、クライアントが自分でも気づいていないものも存在するという前提で、アセスメントをする必要がある。ベースラインの質問票を膨らませていくような形で行うことになる。もちろんシートを活用するわけではあるが、事情聴取や取り調べのようなものにならないように、ピア・カウンセリングのスキルを使いながら、時間を充分にかけて、じっくりと取り組む必要がある。

内容としては：

- 健康一般
- 健康- HIV陽性の場合
- 健康- 女性の場合
- HIV治療へのアドヒアランス
- STD歴
- セックス一般
- HIV・STDに関する知識や情報
- 社会的資源とサポートネットワーク
- HIV感染リスク低減のためのスキル

が含まれる。

6- 7. ニーズ・アセスメント

ニーズアセスメント・シート：

次は、クライアントのリスク・アセスメントをふまえて、そのリスクの低減をはかっていくために、どのようなニーズがあるのかを探っていく段階である。上記のリスク・アセスメントと呼応しながらの作業となり、次のサービス・プランの開発へとつながっていく。

この際も、クライアントが（特にカウンセラーと比較したところで）自分で自分の面倒が見切れていないというような感覚を抱かないような配慮が必要となる。

また、個人の持つニーズには、様々なレベルがあり、ここでカウンセラーは「クライアント本位」と「ハームリダクション」の考えに則って、クライアントのおかれている現状を把握し、クライアントの自己効力感を観察しつつ、現実的かつ実践可能な具体的なニーズをあげていく必要がある。

リスク及びニーズ・アセスメントのポイント：

■健康—一般

クライアントの一般的な健康状態やそれに伴う医療サービスへのアクセスなどを含めたアセスメントを行います。

1. 現在及び慢性的な健康状態
2. 医療サービスへのアクセス
3. HIV抗体検査受検、最終受験日

■健康—HIV陽性の場合

HIV陽性のクライアントの場合、基本的な情報の提供を依頼し、クライアントの置かれている状況を把握する。

1. 最近の血液検査結果
2. 日和見感染歴
3. 結核検査の受検歴

■健康—女性の場合

上記の項目に加えて、次の事項に関する情報を入手する。

1. 最後の婦人科受診
2. 避妊方法
3. 妊娠歴

■HIV治療へのアドヒアランス—抗ウイルス剤などの治療を行っているHIV陽性者のみ
複雑な薬の選択や服薬時間のアドヒアランス、薬剤耐性との折り合いなどに関する情報を入手する。

1. 抗HIV剤のアドヒアランス
2. 日和見感染の治療のアドヒアランス
3. アドヒアランスの阻害要因
4. アドヒアランスの促進要因
5. 複雑な治療を続ける能力と目的意識

■STD歴

STDの予防、診断、治療は第一次、第二次感染予防に重要な要因となります。とくに梅毒、B型肝炎、クラミジア、淋病についての情報は不可欠。

1. STD病歴
2. STD治療歴

■セックス一般

クライアントの性生活に関する包括的な情報は、リスク行動と深く関わっています。時間をかけながら、次の事項に関するアセスメントを行います。

1. セックスパートナーの数

2. 現在のパートナーとの性的な関係性
3. パートナーのH I V感染について
4. パートナーのリスク行動
5. セックス内容との頻度
6. 性的な虐待
7. セックスにおけるアルコール（あるいはドラッグ）の役割
8. コンドームの使用状況
9. コンドーム使用への阻害・促進要因
10. セイファーセックスに関する知識

■H I V・S T Dに関する知識や情報

クライアントが持っているH I VやS T Dに関する知識や情報は、クライアントが認知している自分自身のリスクと深く関わっています。クライアント自身の言葉を聞き出しながら、次の事項に関するアセスメントを行います。

1. H I Vの感染経路
2. H I Vを含む体液
3. H I Vのウィンドウ・ピリオド
4. 抗体検査や陰性・陽性の意味
5. 抗体検査場に関する情報
6. S T DとH I Vの関連
7. S T D一般に関する知識
8. H I Vの薬や治療方法
9. コンドームの有効性

■社会的環境とサポートネットワーク

クライアントのおかれている社会環境や周囲にどのような人間関係があるのかをアセスメントすることによって、リスク行動がとられる環境や影響を及ぼしている外的要因を明確にしていく。

1. 生活環境一般
2. 経済状態
3. 職業
4. 家族環境
5. 友人との関係性
6. パートナーとの人間関係
7. コミュニティーとのつながり
8. 既存サービス機関の利用状況
9. 社会資源の利用状況

■H I V感染リスク低減のためのスキル

クライアントが次の事柄に関して、どのようなスキルを有しているのかをアセスメントする。

1. コンドームのイメージ
2. コンドーム・ネゴシエーションや性的主張
3. 生活環境の中でのコンドームのアベイラビリティ
4. コンドーム有効性への理解
5. コンドームの正確な使用方法への理解

6- 8. プリベンション・プランの開発

リスク・アセスメントおよびニーズ・アセスメントをふまえた上で、そのクライアントのリスク低減をはかるための実際的なプランの作成段階である。サービスの基礎となるのは、一対一のカウンセリングである。故に、カウンセリングの期間や回数や実施場所またそのフォーカスなどが主な内容となる。また情報の必要性が認められた場合は、その内容や入手経路、またPCMで提供できないサービスが認められた場合、それらのサービスを提供している団体や機関への紹介サービス（リファール）などもここに含まれる。なおサービスプランは、クライアントに提示し、その同意を得なければならない。

また、プリベンション・プランには、行動目標の変化、介入実施後の変化、あるいは予想される結果などを含み、クライアントにとって合理的で、彼らが持っているスキルとの整合性があり、また置かれている状況を考慮したものでなければならない。

また二次感染予防のプランには、多剤併用療法や日和見感染治療のアドヒアランスを確実にするものが焦点として含まれていなければならない。また、法律や社会保障サービス、治療教育、臨床情報、メンタルヘルスサービスなどを獲得することによって、クライアントの健康の維持にも焦点を当てる必要がある。

クライアントの中には勢い込んでいて、現実的でない期限を設定したがったりする人もいるし、また、逆にめんどくさがって、期限設定そのものをいやがったするクライアントも考えられる。期限や期間の設定は、プラン自体に一つの枠組みを提供しうるものであるし、また同時にプランの内容に即した妥当性のあるものでなければならない。ここにもクライアント本位のアプローチと、ハーム・リダクションの考え方をふまえて、ピア・カウンセリングのスキルを用いた、クライアントとのセッションが必要とされている。

プリベンション・プランの形式には様々なものが考えられるが、まず最初にクライアントによるプランの採択を明示し、次に、セッションの頻度や回数、連絡方法などを確認する文書を作成する。そして上に上げたポイントごとにアセスメントの課程において明確にされたニーズ書き込み、もしコメントがあれば、それも書き込む。次に、長期目標、短期目標を掲げ、その達成目標期日を書き込んでいく。それぞれの長期目標は、2, 3の短期目標の達成を持つことになる。

セッションの基本的プラン

1. セッションの期間

開始： _____年 _____月 _____日

終了（予定） _____年 _____月 _____日

2. セッションの頻度

毎週 ・ 隔週 ・ 毎月 : _____回 合計 : _____回

3. セッションの場所

第一希望 : _____

第二希望 : _____

4. 連絡方法

携帯

Email

その他

5. その他